

第 22 期

環 境 報 告 書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

2025 年 6 月 16 日

株式会社BWM

1. 組織の概要

(1) 組織の概要

事業所名 : 株式会社BWM

代表者氏名 : 代表取締役 齋藤 博

所在地 : 【本社】宮城県仙台市青葉区大町二丁目 10 番 14 号
 【大和プラント】宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17
 【南方プラント】宮城県登米市南方町字実沢 152 番 2
 【豊里プラント】宮城県登米市豊里町笑沢 153-4

事業内容 : 産業廃棄物収集運搬業、中間処理業、伐採工事請負、木質バイオマス供給事業

資本金 : 6,800 万円

設立年月日 : 平成 15 年 12 月 12 日

売上高 : 813,437 千円(令和 7 年 3 月期)

従業員数 : 30 名(本社 18 名、大和プラント 7 名、南方プラント 4 名、豊里プラント1名)
 (令和7年 3 月 31 日現在)

(2) 産業廃棄物処理業に関する事業内容

1) 許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類																			備 考	
					燃え	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	金属さき	がれき	動物のふん尿	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	産業廃棄物		水銀使用製品等
宮城県	○	00413113164	令和4年10月5日	令和11年10月4日	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	○		積替え保管を行う場所： 宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3番地17
山形県	○	0609113164	令和6年7月25日	令和13年7月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
岩手県	○	00300113164	平成31年2月16日	平成38年2月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
福島県	○	00707113164	令和元年5月1日	令和8年4月30日		○				○	○	○	○		○	○	○		○		○	○			
秋田県	○	00507113164	令和3年4月5日	令和10年4月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
青森県	○	00201113164	令和6年6月7日	令和13年5月26日						○	○	○	○		○	○	○		○			○	○		

◎：積替え保管を含む ○：積替え保管を除く

◎: 積替え保管を含む ○: 積替え保管を除く

② 産業廃棄物処分業

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	施設の設置場所	産業廃棄物の種類	備考
宮城県	○	00423113164	令和4年9月8日	令和11年9月7日	中間処理 破砕(固定式)	宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3-17	木くず	
					中間処理 破砕(固定式)	宮城県登米市南方町実沢152-2	木くず	
					中間処理 破砕(移動式)	仙台市を除く宮城県内一円(排出事業場内に限る)	木くず	
仙台市	○	05421113164	平成31年4月30日	令和8年4月29日	中間処理 破砕(移動式)	仙台市内一円(排出事業場内に限る)	木くず	伐採木に限る
福島県	○	00720113164	令和1年9月9日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)	福島市、郡山市及びいわき市を除く福島県内一円	木くず	

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	施設の設置場所	産業廃棄物の種類	備 考
岩手県		00320113164	令和3年12月19日	令和8年12月18日	中間処理 破砕(移動式)	盛岡市を除く岩手県内の排出事業場	木くず	
秋田県	○	00527113164	令和4年9月6日	令和11年9月5日	中間処理 破砕(移動式)	秋田市を除く秋田県内の排出事業場	木くず	
山形県		00609113164	令和5年6月16日	令和10年6月15日	中間処理 破砕(移動式)	山形市を除く山形県内の排出事業場	木くず	
青森県		00221113164	令和6年12月10日	令和13年9月25日	中間処理 破砕(移動式)	青森市及び八戸市を除く青森県内一円	木くず	

2) 事業計画の概要

宮城県黒川郡大和町と登米市南方に産業廃棄物中間処理施設を設置し、伐採工事等から排出される枝葉や伐根等の木くずの収集運搬及びチップ化処理を行っている。

施設でチップ化した木くずは、主に発電用燃料としてバイオマス発電所に供給している。

3) 施設等の状況

【収集運搬車両】

10tヒアブクレーン車 2 台、4tアームロール車 1 台、10t深ダンプ 2 台 合計 5 台
うち平成 22 年規制適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 1 台、
平成 21 年基準適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 3 台、
平成 28 年基準適合車・H27 年度燃費基準 5%向上達成車 1 台

【積替え保管施設】

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17

保管面積:32.4 m²

保管上限高さ:2.2m

保管上限量:40.6 m³(廃プラスチック類…8 m³、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類…各 4 m³、廃油…0.2 m³、汚泥…0.4 m³、石綿含有産業廃棄物…8 m³)

【産業廃棄物中間処理施設】

① 大和プラント

施設の種類:木くずの破砕施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17(第一仙台北部中核工業団地内)

敷地面積:4,977 m²

建 物:廃木材リサイクル A 棟 鉄骨造 1599.12 m²、B 棟 鉄骨造 914 m²、事務所棟 鉄骨造 235.44 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:令和 2 年 10 月 12 日 許可番号 03-15-3

令和 6 年 6 月 6 日 許可番号 03-61-1

令和 6 年 6 月 6 日 許可番号 03-66-0

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:二軸破砕機ビッグバス SRS650C(一次破砕機)+モバーク・タブグラインダー1000E(二次破砕機)

処理能力 123.20t/日(11 時間稼働)
ロータリースクリーン、チップ搬送コンベアライン
油圧ショベル 2 台、木材カッター1 台、草カッター1 台、フォークリフト 1 台、ショベルローダー1 台、
スタースクリーン(選別機) 1 台
切削チップパー・ウッドハッカーMEGA561DL 処理能力 174.9t/日(11 時間稼働)

② 南方プラント

施設の種類:木くずの破碎施設
所在地:宮城県登米市南方町実沢 152 番 2
敷地面積:7,444 m²
建 物:工場棟 鉄骨造 912 m² 事務所棟 44.31 m²
産業廃棄物処理施設設置許可:平成 29 年 2 月 2 日 許可番号 07-22-1
処理する産業廃棄物の種類:木くず
主要設備:二軸破碎機 HAAS(一次破碎機)
モバーク・タブグラインダー1000E(二次破碎機) 処理能力 89.6t/日(8 時間稼働)
ロータリースクリーン、チップ搬送コンベアライン
木材カッター1 台、油圧ショベル 2 台、フォークリフト 1 台、ショベルローダー1 台

【産業廃棄物中間処理施設(移動式破碎施設)】

① モバーク・タブグラインダーS1000TRACK

施設の種類:移動式木くずの破碎施設
処理能力:120t/日(8 時間稼働)
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、秋田県、山形県

② 二軸破碎機ビッグバス SRS650C

施設の種類: 移動式木くずの破碎施設
処理能力:226.4t/日(8 時間稼働)
許可取得自治体: 宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、山形県

③ 切削チップパー・ウッドハッカーMEGA561DL

施設の種類: 移動式木くずの破碎施設
処理能力:127.2t/日(8 時間稼働)
許可取得自治体:宮城県

【一般廃棄物の再生施設】※登録対象外施設

施設の名称:豊里プラント
施設の種類:一般廃棄物(刈草・萱・稲わら)の発酵堆肥化施設
所在地:宮城県登米市豊里町笑沢 153-4
敷地面積:13,284 m²

建 物:二次発酵ヤード棟 木造 200.00 m² 事務所棟 軽量鉄骨造 2 階建て

処理する一般廃棄物の種類:刈草・萱・稲わら

処理能力: 4.792トン／日

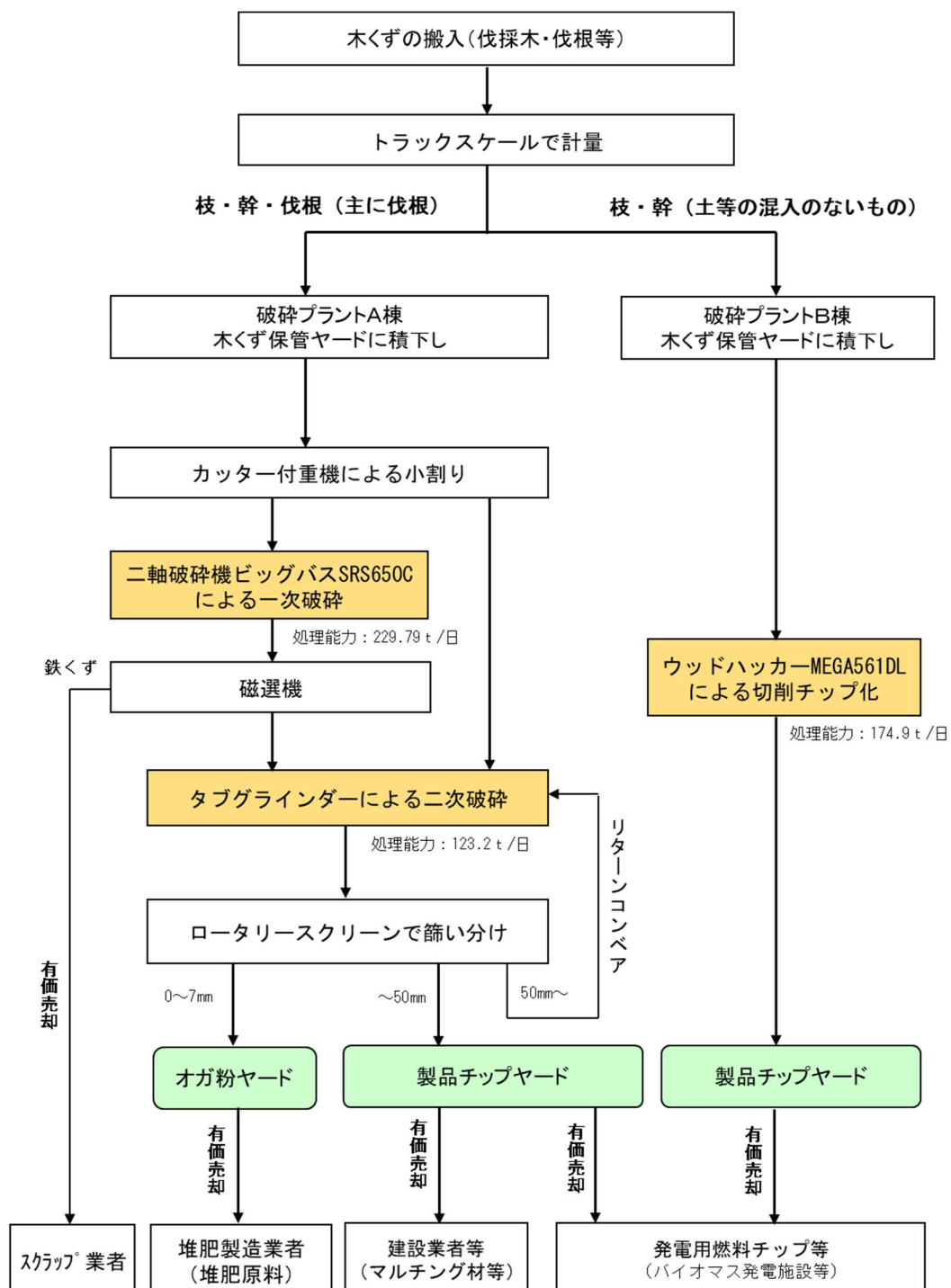
主要設備:一次発酵ヤード① 2,100 m²、一次発酵ヤード② 2,100 m²

自走式堆肥攪拌機トップターンX53、トロンメルスクリーン 1 台、

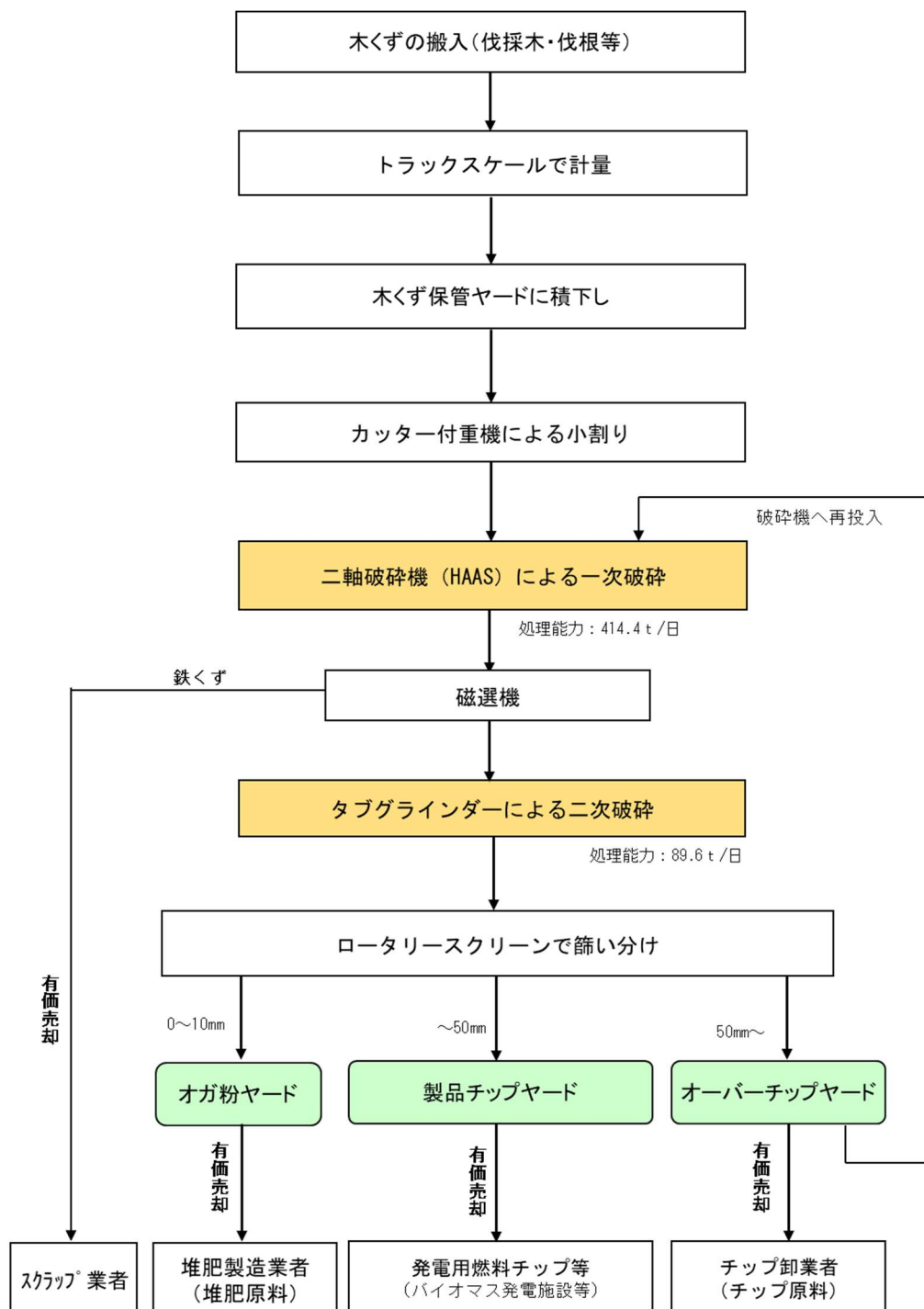
ホイールローダー1 台、フォークリフト 1 台

4) 処理工程図

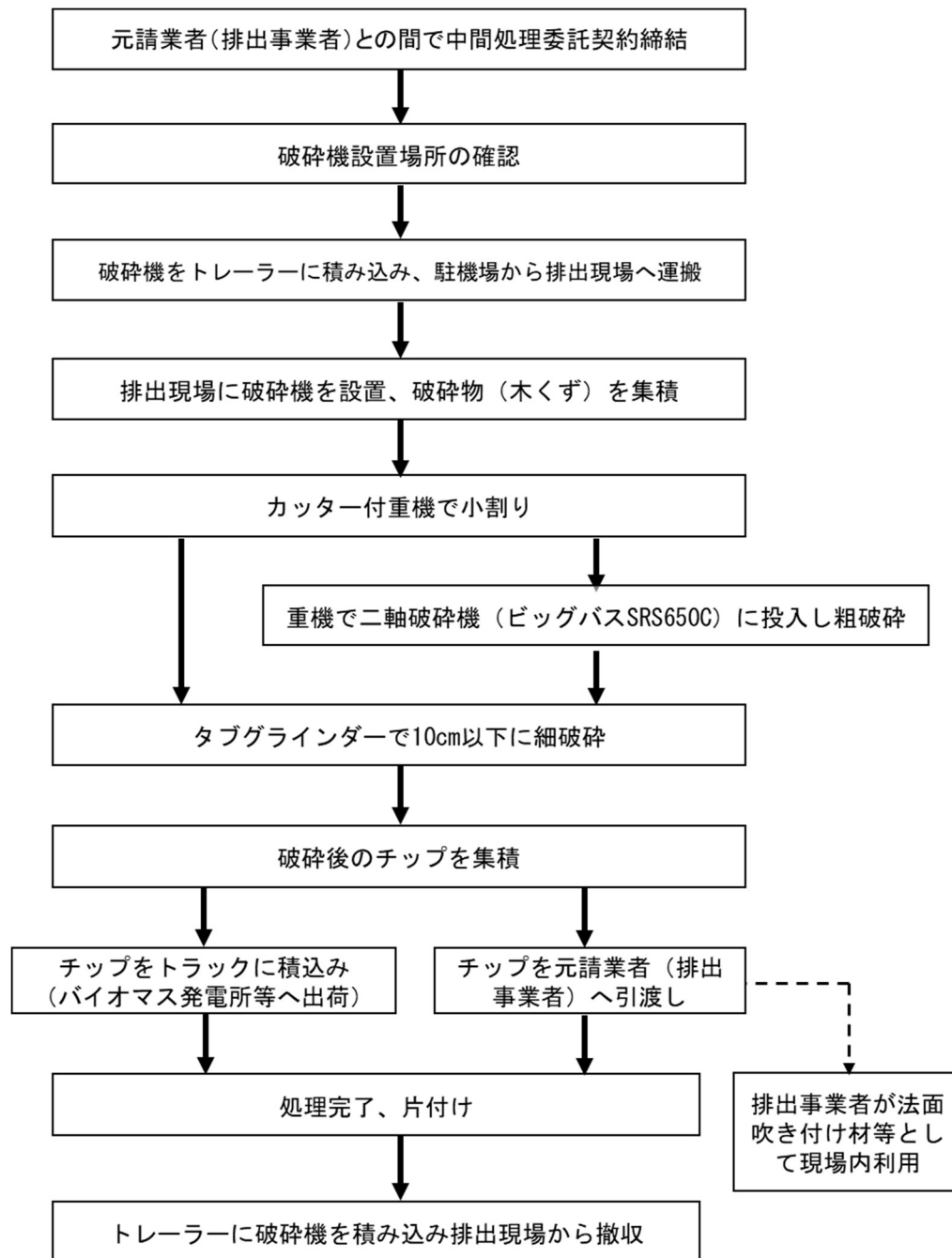
① 大和プラント



② 南方プラント



① 移動式施設



5) 第 22 期処理実績(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

産業廃棄物収集運搬業

単位:t

産業廃棄物の種類	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類													0
紙くず													0
木くず	1,517	906	1,007	532	338	876	1,558	1,324	1,397	1,525	854	582	12,414
繊維くず													0
金属くず													0
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず													0
がれき類													0
管理型混合													0
合計	1,517	906	1,007	532	338	876	1,558	1,324	1,397	1,525	854	582	12,414

産業廃棄物処分業

大和プラント

単位:t

産業廃棄物の種類		処分方法		令和6年									令和7年			合計
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず		破砕	受入量	2,506	871	466	370	217	739	1,248	1,788	1,757	1,532	576	414	12,483
			処分量	2,506	871	466	370	217	739	1,248	1,788	1,757	1,532	576	414	12,483
処理後残さ	木くず	破砕	処分委託量	337	52	99	0	0	0	0	0	5	0	0	1	494

南方プラント

単位:t

産業廃棄物の種類		処分方法		令和6年								令和7年			合計	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
木くず		破砕	受入量	1,154	522	860	229	148	416	714	1,076	1,446	862	688	250	8,364
			処分量	1,154	522	860	229	148	416	714	1,076	1,446	862	688	250	8,364
処理後残さ	木くず	破砕	処分委託量	6	114	11	0	0	0	0	0	170	125	173	96	695

2. 登録対象

(1) みちのく EMS 登録内容

認証登録年月日:2021 年 9 月 28 日(初回登録日 2009 年 9 月 28 日)

有効期限 :2025 年 9 月 27 日

認証登録番号 :09005

(2) 登録範囲

登録範囲(サイト)

① 大和プラント(宮城県黒川郡大和町松坂平 8 丁目 3-17)

事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:8名

敷地面積:4,977 m²

② 南方プラント(宮城県登米市南方町実沢 152-2)

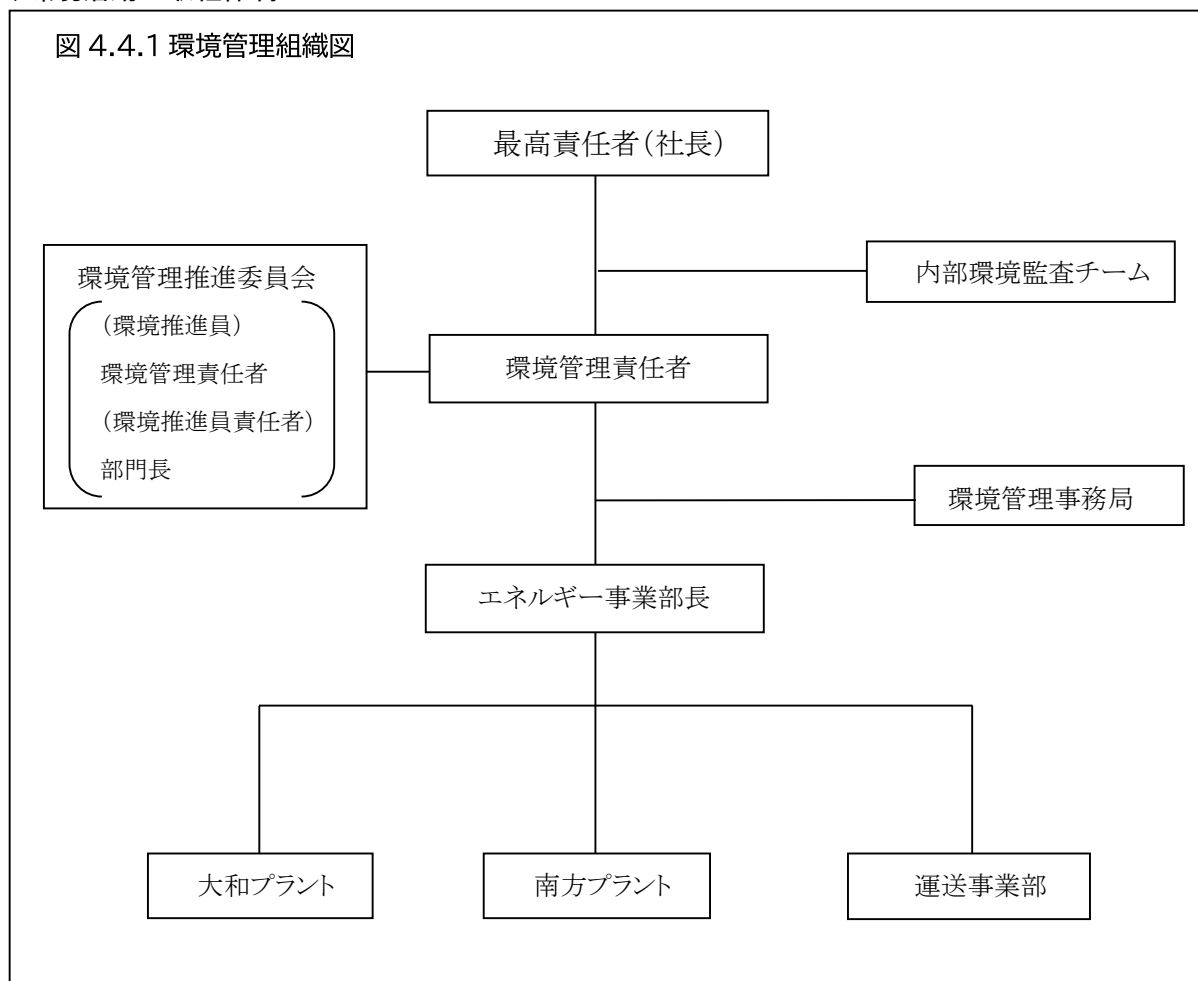
事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:4 名

敷地面積:7,444 m²

(3) 環境活動の取組体制

図 4.4.1 環境管理組織図



3. 環境方針

株式会社BWM 環境方針

基本理念

1. 私たちは、あらゆる尊い『いのち』を大切に想い、地球に優しい環境創りに挑戦します。
1. 私たちは、『未来へ伝える心』を大切に、人と自然が育み続ける社会を創造します。
1. 私たちは、『感謝の気持ち』を忘れず、夢の実現へ共に育ち成長し続けます。

環境方針

1. 順守義務に適合した事業活動を徹底する。
2. 本環境方針に沿って、環境目標を具体的に設定し、全社員は一致協力してその達成に努める。環境目標は、定期的にその実績を評価し、見直しを行う。
3. 社内のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、環境負荷の低減と汚染の予防並びに環境パフォーマンスの向上と EMS の継続的改善に努める。
 - ① 省資源・省エネルギー
 - ② 二酸化炭素排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進
 - ⑤ 廃棄物の排出抑制
4. 環境教育・周知活動を推進し、全社員の環境意識の向上を図り組織として環境保護に取り組むとともに、環境方針を社外に公開する。

2021年4月1日 改定

株式会社 B W M

代表取締役



4. 環境目的・環境目標

2022 年度～2024 年度 環境目標達成計画表

部門	目標	基準年	各年度目標				実施事項（日程含む）	必要な資源	部門責任者	達成期限	達成確認 評価方法
		2020年度	2022年度	2023年度	2024年度						
大和プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量 140,806kg (処理量 7,083 t) 処理量1 t あたりの 排出量 19.88kg	19.7kg／t 以下	19.6kg／t 以下	19.6kg／t 以下	・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	水使用量の削減	230m ³ /年	228m ³ /年以下	227m ³ /年以下	227m ³ /年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	事業系一般廃棄物の削減	450ごみ袋75袋	ごみ袋73袋以下	ごみ袋72袋以下	ごみ袋72袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	要員の意識と協力	小野愛	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	リサイクルの推進	チップ出荷量 4,496 t (374 t／月)	7,200 t 以上	7,200 t 以上	7,200 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
南方プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量 199,497kg (処理量 9,128 t) 処理量1 t あたりの 排出量21.86kg	21.7kg／t 以下	21.6kg／t 以下	21.6kg／t 以下	・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	水使用量の削減	54m ³ /年	52m ³ /年以下	51m ³ /年以下	51m ³ /年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	事業系一般廃棄物の削減	450ごみ袋60袋	ごみ袋60袋以下	ごみ袋60袋以下	ごみ袋60袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
	リサイクルの推進	チップ出荷量 7,372 t	6,000 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	
運送事業部	収集運搬車両の燃料消費量の削減	燃料消費量 93,314ℓ 運搬量100,595m ³ 運搬量1m ³ あたりの 燃料消費量 0.93ℓ/m ³	0.91ℓ／m ³ 以下	0.90ℓ／m ³ 以下	0.90ℓ／m ³ 以下	・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上（エコドライブ、アイドリングストップ） ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底 ・近隣現場から回収量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	金澤英明	各年度	環境マネジメントプログラムで評価	

5. 環境活動の実績

(1)環境マネジメントプログラムの達成状況

【大和プラント及び運送事業部】

環境目標	2024 年度目標	基準年 2020 年度実績値	2024 年度実績値	評価※
プラントからの CO2(二酸化炭素)排出量の削減	廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量 19.6 kg-CO2/t以下	電力消費量:134,420kwh 軽油消費量:30,870ℓ CO2 排出量:140,806kg-CO2 廃棄物処理量:7,083t 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:19.88 kg-CO2/t	電力消費量:144,379kwh 軽油消費量:48,062ℓ CO2 排出量:195,468kg-CO2 廃棄物処理量:11,375t 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:17.18 kg-CO2/t	A
水使用量の削減	水使用量 227 m ³ /年以下	水使用量:230 m ³ /年	水使用量:153 m ³ /年	A
事業系一般廃棄物の削減	45ℓごみ袋 72 袋以下	45ℓ ごみ袋 75 袋/年	45ℓ ごみ袋 69 袋	A
リサイクルの推進	チップ出荷量:7,200t/年以上	チップ出荷量:4,496t/年	チップ等出荷量 10,100t (月平均 841.66t)	A
収集運搬車両の燃料消費量の削減	運搬量 1m ³ あたりの軽油消費量 0.90ℓ以下に削減	総軽油消費量:93,314ℓ CO2 排出量:240,750kg 運搬量:100,595m ³ 運搬量 1m ³ あたりの軽油消費量:0.93ℓ	総軽油消費量:103,983ℓ CO2 排出量:268,276kg 運搬量:93,279m ³ 運搬量 1m ³ あたりの軽油消費量:1.11ℓ	C

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

【南方プラント】

環境目標	2024 年度目標	基準年 2020 年度実績値	2024 年度実績値	評価※
プラントからの CO2(二酸化炭素)排出量の削減	廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量 21.6 kg-CO2/t以下	電力消費量:164,504kwh 軽油消費量:48,313ℓ CO2 排出量:199,497kg-CO2 廃棄物処理量:9,128t 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:21.86 kg-CO2/t	電力消費量:120,076kwh 軽油消費量:34,175ℓ CO2 排出量:147,609kg-CO2 廃棄物処理量:6,365t 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:23.19 kg-CO2/t	B
水使用量の削減	水使用量 51 m ³ /年以下	水使用量:54 m ³ /年	水使用量:55 m ³ /年	B
事業系一般廃棄物の削減	45ℓごみ袋 60 袋以下	45ℓ ごみ袋 60 袋/年	45ℓ ごみ袋 52 袋	A
リサイクルの推進	チップ出荷量:6,000t/年以上	チップ出荷量:7,372t/年	チップ等出荷量 5,118t (月平均 426.5t)	C

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

(2) 環境活動の評価と課題

1) 大和プラント

① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減・・・目標達成

2024 年度は松島 IH、大郷 MS の大型現場があり、年間を通じて搬入が多く、それに伴い出荷搬出量も増えた。ウッドハッカーによる破砕ができるようになったことで、処理の効率化が進んだ。

	2020 年度 (基準年度)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	基準年度 比
木くず・刈草受入れ量	7,335 t	9,412 t	7,735 t	12,818 t	1.75
処理量（搬出量）	7,083 t	7,652 t	7,484 t	11,375 t	1.61
電力消費量	134,420kwh	111,575kwh	144,719 kwh	144,379 kwh	1.07
電力消費に伴う CO2 排出量	61,161 kg	55,230 kg	65,847 kg	68,436 kg	1.12
軽油消費量	30,870ℓ	23,681ℓ	26,905ℓ	48,062ℓ	1.56
軽油消費に伴う CO2 排出量	79,645 kg	61,097 kg	69,415 kg	124,000 kg	1.56
CO2 排出量合計	140,806 kg	116,327 kg	135,262 kg	192,436 kg	1.37
処理量あたりの CO2 排出量	19.88 kg/t	15.20 kg/t	18.07 kg/t	16.92 kg/t	0.85
目標値	—	19.7 kg/t 以下	19.6 kg/t 以下	19.6 kg/t 以下	
達成／未達成		達成	達成	達成	

② 水使用量の削減・・・目標達成

大和プラントでの年間の水使用量は 153 m³で 227 m³以下とする目標を達成した。

トラックの洗車を南方でも行うようにしたことにより、前年から大幅に使用量が減少した。

③ 事業系一般廃棄物の削減・・・目標達成

事業系一般廃棄物の排出量は 45ℓ ゴミ袋 69 袋で、72袋以下とする目標を達成した。紙ごみの分別は継続している。

④ リサイクルの推進・・・目標達成

搬入量が多かったことやウッドハッカーによる破砕処理ができるようになったことで処理が進んだだけでなく、出荷先の幅も広がり、出荷量を大きく増やすことができた。12 月以降、伐根の受け入れ量が増えたため、残土が増えており、今後この処理が課題となっている。

	2020 年度 (基準年度)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	基準年度比
木くず受入れ量	6,958 t	9,081 t	7,431 t	12,483 t	1.79
チップ等出荷量	4,496 t	5,488 t	6,697 t	10,100 t	2.25
目標値		7,200 t 以上	7,200 t 以上	7,200 t 以上	
達成／未達成		未達成	未達成	達成	

⑤ 収集運搬車両の軽油消費量の削減・・・目標未達成

運搬量あたりの燃料消費量については、自社車両が遠方の現場に回ることが多く、近場の現場へは外注

車両を回すことが多かった。山形県米沢市の発電所や福島県本宮の製材所への定期便もあり燃料消費が増加した。

	2020 年度 (基準年度)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	基準年度比
運搬量	100,595 m ³	108,216 m ³	87,992 m ³	93,279 m ³	0.93
(参考) 走行距離		302,040 km	355,947 km	277,803 km	
軽油消費量	93,314ℓ	106,130ℓ	122,220ℓ	103,983ℓ	1.11
軽油消費に伴う CO2 排出量	240,750 kg	273,815 kg	315,327 kg	268,276 kg	1.11
運搬量あたりの燃料消費量	0.93 ℓ/m ³	0.98ℓ/m ³	1.39ℓ/m ³	1.11ℓ/m ³	1.19
目標値		0.91ℓ/m ³ 以下	0.90ℓ/m ³ 以下	0.90ℓ/m ³ 以下	
達成／未達成		未達成	未達成	未達成	

2) 南方プラント

① 廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量の削減・・・目標未達成

受入量は前年を上回ったが、南方プラントへは伐根や竹の搬入が多く、小割や選別等の前処理作業が増えたことや搬出トラックが十分に確保できなかったことなどから、破碎が進まなかったことで処理が進まなかった。エネルギー消費も少なかったが、処理量1tあたりの二酸化炭素排出量は基準年度をわずかに上回り、削減目標を達成できなかった。

	2020 年度 (基準年度)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	基準年度比
木くず・刈草受入れ量	8,101 t	9,597t	6,112t	8,842t	1.09
処理量（搬出量）	9,128 t	6,226 t	6,948t	6,365t	0.70
電力消費量	164,504kwh	121,584kwh	167,216kwh	120,076kwh	0.73
電力消費に伴う CO2 排出量	74,849 kg	60,184 kg	76,083 kg	56,916 kg	0.76
軽油消費量	48,313ℓ	34,307ℓ	44,574ℓ	34,175ℓ	0.71
軽油消費に伴う CO2 排出量	124,648 kg	88,518 kg	115,001 kg	88,172 kg	0.71
CO2 排出量合計	199,497 kg	148,696 kg	191,084 kg	145,088 kg	0.73
処理量あたりの CO2 排出量	21.86 kg/t	23.88 kg/t	27.50 kg/t	22.79 kg/t	1.04
目標値	—	21.7 kg/t 以下	21.6 kg/t 以下	21.6 kg/t 以下	
達成／未達成		未達成	未達成	未達成	

② 水使用量の削減・・・目標未達

年間の水使用量は 55 m³で目標の 51 m³以下を上回った。前年からトラックの洗車を南方でも行うようにしたことが要因と考えられる。

③ 事業系一般廃棄物の削減・・・目標達成

21 期は 450 ゴミ袋 52 袋で、目標の 60 袋以下を達成した。

④ リサイクルの推進・・・目標達成

受入量は前年を上回ったが、南方プラントへは伐根や竹の搬入が多く、小割や選別等の前処理作業が増えたことや搬出トラックが十分に確保できなかったことなどから、破碎が進まなかったことで処理が進まなかった。

	2020 年度 (基準年度)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	基準年度比
木くず受入れ量	7,218 t	8,894 t	5,621 t	8,364 t	1.16
チップ出荷量	7,372 t	5,299 t	6,657 t	5,118 t	0.69
目標値	—	6,000 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	
達成／未達成		未達成	達成	未達成	

6. 内部監査及び外部監査の結果

(1) 内部監査の結果

内部監査は 2025 年 2 月 14 日に大和プラント、南方プラントで実施した。

環境マネジメントシステムは適切に運用されていることが確認された。

不適合事項として、環境マネジメントプログラムに以下の目標未達成項目があった。

① 南方プラントでの処理量あたりの CO2 排出量

② 同じく南方プラントでのチップ出荷量

③ 収集運搬車両の運搬量あたりの燃料消費量の削減

①②に関しては、プラント間における搬入量、搬入物の偏りによるもので、両プラントを合わせた場合、全体として目標を達成していることが確認された。

④ に関しては目標の見直しも含め検討が必要である。

いずれも不適合是正処置報告書が提出され、原因も特定されており、目標の見直しも含め改善処置がとられていることが確認された。

(2) 外部監査の結果

2024 年 7 月 24 日に行われた優良産廃規格定期サーベイランスにおいて、不適合、改善要求事項、観察事項は特になかった。

7. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認している。

法規制の大きな逸脱は見られなかった。

遵守状況は付属資料『法律その他の規制要求事項一覧表』のとおり

8. 最高責任者による評価と見直しの結果

2025 年 3 月 15 日にマネジメントレビューを実施した。

(1) 全体評価

環境マネジメントシステムは適切に運用されている。

(2) 環境方針等の変更の必要性

環境目標について、伐採工事とこれに伴う産業廃棄物の排出量の減少など市況が変化していることから、目

標の見直しを検討するよう指示があった。

9. コミュニケーション

第 22 期に実施した環境コミュニケーション活動

- ・仙台北部中核工業団地大栄会による工業団地内道路の清掃活動への参加(毎月 1 回)
- ・令和 6 年 10 月 23 日 みやぎ中小建設業協会主催のスマイルリバー活動への参加
- ・令和 6 年 10 月 23 日 宮城県産業資源循環協会主催のクリーン作戦への参加
- ・令和 6 年 10 月 1 日みやぎ中小建設業協会主催の献血活動への参加(2 名)
- ・令和 6 年 6 月 19 日仙台市ふるさとの杜再生プロジェクトへ豊里プラントで製造した堆肥の寄付
- ・車いすバスケットボールチーム宮城MAXへの協賛

10. 次年度の取り組み内容

第 23 期はみちのく EMS 規格(第 3 版)、みちのく EMS(第 3 版)エコアクション 21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に対応した活動を行う。引き続き次の項目に取り組む。

- ① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減
- ② 運搬車両の燃料消費量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 事業ごみ排出量の削減
- ⑤ チップ出荷量の維持向上

2025 年度～2027 年度 環境目標達成計画表

部門	目標	基準年	各年度目標			実施事項（日程含む）	必要な資源	部門 責任者	達成期限	達成確認評価方法
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度					
大和 プラント	プラントからの CO2排出量の削減	総排出量：192,436kg-CO2 処理量：11,375 t 1 t あたりの排出量：16.92kg/ t	16.9kg/ t 以下	16.8kg/ t 以下	16.7kg/ t 以下	・枝葉はできるだけウッドハッカーで処理する ・熟練作業員の養成、確保 ・アイドリング時間の削減 ・場内余剰スペースの確保 ・受入れ計画・処理計画の十分な検討によるムダな作業の削減 ・受け入れ量アップによる稼働率向上	要員の意識 と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
	水使用量の削減	153ml/年	152ml/年以下	151ml/年以下	150ml/年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止める ことなどによる節水 ・洗濯や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識 と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
	事業系一般廃棄物の 削減	45ℓごみ袋：69袋	ごみ袋69袋以下	ごみ袋68袋以下	ごみ袋67袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみの分別、リサイクルの徹底	要員の意識 と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
	リサイクルの推進	チップ出荷量：10,100 t	6,000 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障を なくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識 と協力	伊藤俊吾	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
南方 プラント	プラントからの CO2排出量の削減	総排出量：145,088kg-CO2 処理量：6,365 t 1 t あたりの排出量：22.79kg/ t	22.7kg/ t 以下	22.6kg/ t 以下	22.5kg/ t 以下	・熟練作業員の養成、確保 ・アイドリング時間の削減 ・場内余剰スペースの確保 ・受入れ計画・処理計画の十分な検討によるムダな作業の削減 ・受け入れ量アップによる稼働率向上	要員の意識 と協力	佐藤憲司	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
	水使用量の削減	55ml/年	54ml/年以下	53ml/年以下	52ml/年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止める ことなどによる節水 ・洗濯や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識 と協力	佐藤憲司	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
	事業系一般廃棄物の 削減	45ℓごみ袋：52袋	ごみ袋52袋以下	ごみ袋51袋以下	ごみ袋50袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみの分別、リサイクルの徹底	要員の意識 と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
	リサイクルの推進	チップ出荷量：5,118 t	6,000 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障を なくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識 と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価
運送 事業部	収集運搬車両の 燃料消費量の削減	燃料消費量：103,983ℓ 運搬量：93,279m ³ 1m ³ あたりの燃料消費量：1.11ℓ/m ³	1.10ℓ/m ³ 以下	1.09ℓ/m ³ 以下	1.08ℓ/m ³ 以下	・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上（エコドライブ、アイドリングストップ） ・燃費運転の削減 ・車両整備の徹底 ・近隣現場から回収量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識 と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプ ログラムで評価

11. その他

(1) 第 22 期の自社排出産業廃棄物の種類及び排出量

排出事業場	産業廃棄物の種類	排出量
大和プラント	なし	
南方プラント	木くず	100 kg
	混合	2.0 m ³

(2) 違反及び訴訟等の有無

特になし

法律その他の規制一覧表



確認年月日	2025年6月16日	確認者氏名	安田 匡志
-------	------------	-------	-------

環境関連法規制等の改正・制定・廃止等について確認（法令の改正は施行令、規則等についても確認）すること。但し当事業に無関係な条文の改正については改正等無として取り扱って構わない。

法令その他の規制の名称		法律その他の規制の内容	当事業への関わり	改正等		備考（改正内容等）	要求事項見直し	
				有	無		要	不要
(1) 環境に関する国内法令・自治体の条例等	環境基本法	すべての環境関連法の土台となる基本法	騒音や振動について環境基準の遵守	☐	☒		☐	☒
	騒音規制法	工場や建設工事、自動車等から発生する騒音を規制する法律	破砕機が特定施設に該当施設や建設工事現場から発生する騒音について規制基準がある	☐	☒		☐	☒
	振動規制法	工場や建設工事、自動車等から発生する振動によって生活環境が悪化しないようにするための規制法	破砕機が特定施設に該当施設や建設工事現場から発生する振動について規制基準がある	☐	☒		☐	☒
	大気汚染防止法	工場や自動車等から出る排気ガスやばい煙や粉じん等による大気汚染を防止するための規制法		☒	☐	2023.10施行 石綿飛散防止のため解体工事前の事前調査を強化 2025.2公布 水銀等の排出規制強化	☐	☒
	悪臭防止法	工場や事業場等から発生する悪臭によって生活環境が損なわれることを防止するための法律		☐	☒		☐	☒
	水質汚濁防止法	工場や事業場等から排出される排水や地下水汚染による水質の悪化を防止するための規制法		☒	☐	2024.4 六価クロムと大腸菌数の排水・地下水の基準厳格化	☐	☒
	宮城県公害防止条例	宮城県内における公害の発生を未然に防止し、県民の健康と生活環境を保全することを目的とした条例 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、土壌汚染等に対する規制	破砕機が騒音及び振動の特定施設に該当各施設や建設作業において騒音や振動について規制基準の遵守	☐	☒			☒
	廃棄物処理法	廃棄物の発生抑制、適正な分別・保管・収集運搬・処分のルールを定め、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るための法律	廃棄物処理業全般 産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業許可 廃棄物の保管、収集運搬、処分 廃棄物処理施設の設置、維持管理（破砕機が木くずの破砕施設に該当） 産業廃棄物、事業ごみの排出、処理委託、自ら処理	☐	☒		☐	☒
	廃棄物処理法施行令			☐	☒		☐	☒
	廃棄物処理法施行規則			☐	☒		☐	☒
	環境省通達等			☐	☒		☐	☒
	宮城県廃棄物の処理の適正化に関する条例	産業廃棄物の排出・収集・運搬・処理が適正に行われるよう、県と事業者がそれぞれ責務を果たすことを目的とした、廃棄物処理法を補完する県条例	従業員へ産廃の適正処理に関する研修実施の努力義務 産業廃棄物処理委託先の確認義務 産業廃棄物管理責任者の設置	☐	☒		☐	☒
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行条例	廃棄物処理法を地方レベルで実行するために必要な事項を定めた条例		☐	☒		☐	☒

宮城県産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱	事業者（廃棄物排出者・処理業者等）が産業廃棄物処理施設を設置・維持管理する際に、県が公害防止・災害防止の観点から「指導・助言・監督」を行うための基準を定めた文書	産業廃棄物処理施設設置や変更時の事前協議義務 立地基準、構造基準、維持管理基準の遵守 廃棄物受入量や性状の分析、点検・検査、事故発生時の対応、放流水の水質検査、記録の3年間保存などの義務 施設の開始・停止・廃止などの状況、維持管理の状況の報告	☐	☒		☐	☒
土壌汚染対策法	有害物質による土壌汚染を防止し、健康被害を防ぐための法律		☐	☒		☐	☒
地球温暖化対策推進法	地球温暖化の防止を目的として、国や自治体、事業者、市民が協力して温室効果ガスの排出削減や適応策を推進するための法律 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた対策法	温室効果ガス排出量が規模未満のため報告義務の対象外 自主的な削減努力が推奨される。	☐	☒		☐	☒
省エネルギー法（エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律）	エネルギー消費の効率化を促進し、地球温暖化の防止や資源の有効活用を目的とした法律	年間エネルギー使用量が1500kℓ未満のため報告義務やエネルギー管理者の設置義務はない。自主的な省エネ努力が推奨される。	☐	☒		☐	☒
家電リサイクル法	家電製品のリサイクルを促進し、廃棄物の削減や資源の有効利用を目的とした法律	事業所で使用していた製品も対象となるため、対象製品を廃棄する際にリサイクル料金の支払いと指定引取所等への引渡しが必要	☐	☒		☐	☒
小型家電リサイクル法	主に家庭から排出される小型家電製品の資源循環を促進し、貴重な金属資源の回収と適正処理を目的とした法律	事業所で使用していた小型家電も対象となるため、対象製品を廃棄する場合は、適切にリサイクルすることが求められる。	☐	☒		☐	☒
建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化に関する法律）	建設現場から排出される廃棄物のうち、再資源化対象物（コンクリート・アスファルト・木材）を適切に分別しリサイクルすることを義務付けた法律	一定規模以上の施設の建設や解体を発注した場合、着工前に届出が必要 処理業者としては解体材や新築端材を受け入れる場合に再資源化処理が必要。	☐	☒		☐	☒
容器包装リサイクル法	家庭から排出される容器や包装のごみを分別し、リサイクルすることを義務付けた法律。ごみの減量と資源の有効活用を目的とする。	事業ごみは対象外	☐	☒		☐	☒
グリーン購入法	国や自治体、企業等が環境に配慮した製品やサービスを優先的に購入することを推進する法律	企業には努力義務が課されている。	☐	☒		☐	☒
宮城県グリーン購入促進条例	環境に配慮したモノやサービスの購入（グリーン購入）を積極的に推進し、県民・事業者・県自身が責任を持って取り組むことを定めた条例	理解促進の努力義務 グリーン製品の認定（豊里プラントで製造している堆肥がグリーン製品に認定されている）	☐	☒			☒
プラスチック資源循環促進法	プラスチック製品の設計から廃棄・再資源化まで、ライフサイクル全体で資源循環を進めることを目的とした法律。プラスチックの3Rを強化し、持続可能な社会の実現を目指す。	該当なし	☐	☒		☐	☒
フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	フロン類の使用・管理・回収を規制する法律 一定規模以上の業務用エアコンや冷蔵・冷凍機の定期点検や修理を義務付ける等	重機のエアコンの簡易点検、大和プラントの業務用エアコンの定期点検、簡易点検、記録の保存、漏えい時の修理義務、廃棄時の回収依頼・回収証明書の保管	☐	☒		☐	☒

(1)環境
に関する
国内
法令・
自治体
の条例
等

PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）	事業所から排出・移動される有害な化学物質の量を国が把握・公表し、環境リスク低減を図るための法律	対象物質は扱っていない	☐	☒		☐	☒
消防法	火災の予防・警戒・消火・救助等に関する基本的なルールを定めた法律 火災を予防し、被害を最小限にとどめることで国民の生命・身体・財産を守ることを目的とする	消火器・消火栓等の防火設備の設置義務 防火管理者・防火責任者の選任 灯油などの危険物の貯蔵・取り扱い 木くず・チップの貯蔵・取り扱い（指定可燃物に該当するため、指定可燃物貯蔵取扱の届出が必要）	☐	☒		☐	☒
黒川地域行政事務組合火災予防条例		消防設備の点検・報告義務 消防訓練の実施	☐	☒			☒
登米市火災予防条例			☐	☒			☒
労働安全衛生法 労働安全衛生規則	職場での事故・病気を防ぐことを目的に、労働災害の防止や職場環境の整備、健康管理、メンタルケアなどを総合的に定めた法律 職場での危険の排除、健康保持、組織体制の整備などを体系的に定めた法律	安全配慮義務、安全衛生推進者の選任、健康診断の実施、労働災害の報告義務、就業規則の制定、安全衛生計画の策定、作業環境の整備、機械・設備の構造基準、点検義務 重機・フォークリフトの使用・維持管理 資格者が必要な作業での有資格者の配置など	☒	☐	・SDS交付義務の対象となる物質について事業場におけるリスクアセスメント（化学物質などによる危険性・有害性を特定し、その特定された危険性・有害性に基づくリスクを見積もることに加え、リスクの見積もり結果に基づいてリスクを減らす対策の内容を検討する一連の流れ）が義務付け 2025.4.1 ・危険場所での安全措置（立入禁止・退避・火気禁止など）の対象が労働者だけでなく作業に従事する者全員に拡大 ・熱中症対策の義務化	☒	☐
クレーン等安全規則	クレーンや移動式クレーンなどの安全な使用・管理に関する具体的な基準や手順を定めた規則	ヒアブの使用・維持管理	☐	☒		☐	☒
計量法	社会の信頼に足る公正な計量を確保し、取引の公正・環境保全などに寄与する	各プラントでのトラックスケールでの計量 トラックスケールの維持管理 計量証明事業	☐	☒		☐	☒
道路運送車両法	交通事故の防止や公害の抑制を図るために、車両の構造・性能・検査・整備等に関する基準を定めた法律	運搬車両、社用車の使用、整備等	☐	☒		☐	☒
道路交通法	道路の交通のルールを定めた法律 交通事故の防止と交通の円滑な流れを確保することと障がい者や子供の保護を目的とする。	運搬車両・社用車使用時の交通ルールの順守（信号・標識の遵守、スピード制限、飲酒運転禁止・携帯電話使用禁止など） アルコールチェックの義務、記録の保存義務 安全運転管理者の選任 過積載の防止	☒	☐	2024.11 自転車のながら運転、酒気帯びに刑事罰	☐	☒
特定特殊目撃車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	建設機械などのオフロード車両から排出される排出ガスを規制するための法律	バックホウ、フォークリフト、ローダー、自走式破砕機などが該当 排出ガス規制に適合していることが必要	☐	☒		☐	☒
大和町下水道条例	大和町での下水道の運営・使用・構造基準等を定めたもの	大和プラントでの下水道への排水の水質基準	☐	☒		☐	☒

(2) 関係 団体、 関係地 域住民 との協 定等	発電利用に供する木 質バイオマス証明の ためのガイドライン	木質バイオマスの供給者が、発電利用に供する木質バイ オマスを供給するにあたって由来証明を行う際の留意す べき事項等	バイオマス発電所へチップを出荷する際の手 順、由来証明の発行	☐	☒		☐	☒
	大和町及び大和町み やぎエコファクト リー運営評議会との 環境保全等に関する 協定	大和町エコファクトリーへの立地企業が環境保全のため に遵守すべき事項についての協定	騒音や振動についての基準、排水の水質に関 する基準等	☐	☒		☐	☒
	仙台北部中核工業団 地の環境保全協定	仙台北部中核工業団地への立地企業が遵守すべき事項	騒音や振動についての基準、下水道への排水 の水質に関する基準等	☐	☒		☐	☒
(3) 取引 先業者 等	出荷先の受け入れ基 準	チップその他の再生品の出荷先の定める受け入れ基準	製品の出荷	☐	☒		☐	☒

(最終改定：2022年4月2日「地球温暖化対策推進法」「省エネルギー法」「プラスチック資源循環法」を追加)